「津市地球温暖化対策実行計画」（案）に対する意見等の概要と意見等に対する考え方について

分類について

Ａ：意見を反映し、計画案を修正するもの（意見の一部を反映する場合も含む）

Ｂ：すでに計画案に盛り込まれているものや実施する上で参考とするもの

Ｃ：意見を反映しないで、計画案どおりとしたもの

Ｄ：その他の意見・要望・質問、計画案とは直接関係無いもの

No.	頁	該当箇所	意見の概要	分類	意見に対する考え方
1	18	第３章　温室効果ガス排出量の状況 ５　前計画期間中の取組に対する評価	（１）市民の取組の文が意味不明です。「近年の核家族化や単身世帯化の進行に伴う世帯数の増加によりエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量は増加傾向にある」とありますが、そのような資料がないまま突然このような文が出てくることは不信感がでます。核家族や単身世帯に限定する根拠はどこにありますか？	Ａ	当該箇所の記述につきましては民生家庭部門における二酸化炭素排出量の増加要因のひとつの例として記載したものですので、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 …しかしながら、近年の核家族化や単身世帯化の進行に伴う世帯数の増加により、… 【修正後】 …しかしながら、近年の核家族化や単身世帯化の進行に伴う世帯数の増加などにより、… なお、環境省の「家庭部門のCO2排出実態統計調査」より、全国的な傾向として世帯人員が少なくなるほど世帯一人当たりのCO2排出量が多くなる（4人世帯を1として算出した場合、2人世帯では1.47倍、1人世帯では1.63倍）ことが明らかであること、総務省「国勢調査」より、津市の世帯数が増加傾向であること及び世帯人員が少ない世帯の割合が増加していることから、核家族化や単身世帯化の進行が津市の二酸化炭素排出量の増加要因のひとつであると判断しました。
2			「啓発について改善の余地がある」とありますので、どのように改善したか公表のほどお願いします。	Ｂ	「啓発について改善の余地がある」という記載につきましては、これまでの取組を振り返った結果の課題点として挙げたものであり、第5章で市の取組（施策）として挙げております「環境教育・環境学習の推進」や、「ごみ分別と減量」におけるごみダイエット塾などで積極的な啓発に努めてまいります。また、事業の実施状況を公表してまいります。
3	19	第３章　温室効果ガス排出量の状況 ５　前計画期間中の取組に対する評価	（３）津市域における再生可能エネルギーの利用での「津市バイオマス産業都市構想」は市民に知られていません。広報をお願いします。	Ｂ	「津市バイオマス産業都市構想」につきましては、津市の主要な再生可能エネルギー施策の一つであることから、例年開催しております「新エネルギー学習会」において「津市バイオマス産業都市構想」の周知を図るとともに、同構想に基づき設置されたバイオマス発電施設を見学するコースを追加するなど、当構想及び当構想に基づく取組を知ることができる機会を提供してまいります。
4			そして、再生可能エネルギーが「地産地消」のエネルギーになっていない原因は課題として記載すべきだと思います。	Ａ	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 …可能となりましたが、それらを津市域で使用する「地産地消」のエネルギー… 【修正後】 …可能となりましたが、調達価格や送電インフラ整備などの課題もあり、それらを津市域で使用する「地産地消」のエネルギー…

「津市地球温暖化対策実行計画」（案）に対する意見等の概要と意見等に対する考え方について

分類について

Ａ：意見を反映し、計画案を修正するもの（意見の一部を反映する場合も含む）

Ｂ：すでに計画案に盛り込まれているものや実施する上で参考とするもの

Ｃ：意見を反映しないで、計画案どおりとしたもの

Ｄ：その他の意見・要望・質問、計画案とは直接関係無いもの

No.	頁	該当箇所	意見の概要	分類	意見に対する考え方
5	26	第５章　二酸化炭素排出抑制に関する施策 ２　津市における取組 ⑴　市民の取組 ア　環境に配慮した生活様式の実践	⑴ 市民の取組　（ア）省エネルギー行動の実践 ※「エコエコ家族」認定状況、平成27年度10家族、28年度９家族、29年度０、平成30年度２家族、令和元年度０、という結果です、この取り組みの検証と公表をお願いします。エコエコ家族は津市の施策に市民が行動をしていない例だと思います。この見直しで突然なくすのではなく、なぜ市民の共感を得られなかったのか？何がいけなかったのか？何が足らなかったのか？などを明確にし施策の改善をしていく事が、今、必要なことではないでしょうか？ ※「夏休み子どもエコチャレンジ」は毎年7割の学校参加があり効果が有ると思います。これも点検し施策の参考にすれば良いと思います。 ※「省エネナビ」についても、利用個体数が資料にありません。上記と同じ点検を行ってください。	B	「生活かえる！エコエコ家族」や「省エネナビモニター」につきましては、家庭における省エネルギーの取組として有効な手段の一つであり、今後も継続して実施してまいります。なお、より多くの市民の皆様にご参加いただき、事業効果を高められるように、参加率の高い「夏休みこどもエコチャレンジ」の取組を参考に、周知の方法などを改善してまいります。
6	27	第５章　二酸化炭素排出抑制に関する施策 ２　津市における取組 ⑴　市民の取組 ア　環境に配慮した生活様式の実践	※（ウ）環境学習センターを利用するとあるが、交通の便が悪ため行きづらい、防犯面でも心配な部分があります。環境学習センターと同じ役割を持つ施設が交通の便が良い場所に必要である。行政の空いている場所を利用するのも案のひとつです。また利用の方法が周知されていない為ボランティア団体の利用が限られているので広く利用できるように広報をお願いします。	B	「津市環境学習センター」は環境学習の企画・立案及び情報発信の拠点であり、併設のリサイクルセンターでの家庭ごみ処理工程を見学いただくなど、センターを現地でご利用いただくほかに、より多くの市民の皆様に参加いただけるよう、総合支所などの会議室のほか、市内の山、川、海や環境保全等に取り組んでおられる事業所などのフィールドを利用して、各種のイベントを企画し開催しております。今後も多数の市民の皆様に参加いただけるよう、継続して各地域での環境イベントを開催してまいります。
7	29 ～ 33	第５章　二酸化炭素排出抑制に関する施策 ２　津市における取組 ⑴　市民の取組 カ　日常的にできる取組事例	カ　日常的にできる取組事例 この事例は市民に広報する事ですが、対策計画に盛り込むことなのですか？	C	取組事例の記載は、本計画がより実行性のあるものとなるよう市民に具体的に取り組んでいただける内容を例示したものであり、その広報の手段の一つとして本計画に記載していることから、既存の記述のままとします。 なお、当該取組事例につきましては、本計画への記載のみに留まらず、ダイジェスト版など別媒体を使用した啓発にも努めてまいります。
8	35	第５章　二酸化炭素排出抑制に関する施策 ２　津市における取組 ⑶　市の取組（施策） イ　環境教育・環境学習の推進	イ　環境教育・環境学習の推進 ※「小学校での環境学習講座」について、私たちの会等でも小学校に出前講座で行っていましたが、このような講座があるのを知りません。情報発信の手段に偏りがあるのではないかと思います。 実施状況も平成27年度0件、28年度2件、29年度1件、30年度１件、令和元年０件、点検を行い対策が必要だと思います。 子どもたちは自分に近い年齢の人の話は親近感を持ってしっかりと聞く傾向にあると思います。案として、大学生、専門学生、高校生も講座行えるようにする。学生は講座を行う事により単位や評価を得ることが出来るようにする。	B	小学校での環境学習講座につきましては、子供たちの環境学習として有効な手段の一つであり、今後も継続して実施していく中で、講座の内容を子供たちがより理解しやすいものに更新します。加えて、教育委員会とも密な連携を図り、各小学校が積極的に参加できるよう努めてまいります。 頂いたご提案につきましては、貴重なご意見として今後の当事業の在り方を検討する際の参考とさせていただきます。
9			（エ）くるりんペーパーですが、良い取り組みだと感心しています。平成27年度から収集量が少しづつ減少をしています。学校単位での取り組みですが、子育てで忙しい中ご苦労様です。子育てを離れた人たちももっと参加できるように広報をお願いします。学校のトイレットペーパーになるのであれば協力するに違いありません。その案を考えました ・収集場所を増やす ・収集場所をわかりやすくする、可愛い動物の箱かポストのような物にする ・紙箱を入れる紙箱を作るか、環境フェアに出ている企業に企業名入りの箱を作ってもらってその箱に集めて収集場所に持ってくる。	B	くるりんペーパー事業につきまして、子供たちの環境学習として有効な手段の一つであり、これからも継続して実施していく中で、子供たちからさらに興味を示してもらえるように、ご提案のかわいい動物のポストも良いアイデアであると考えます。 頂いたご提案につきましては、貴重なご意見として今後の当事業の在り方を検討する際の参考とさせていただきます。

「津市地球温暖化対策実行計画」（案）に対する意見等の概要と意見等に対する考え方について

分類について

Ａ：意見を反映し、計画案を修正するもの（意見の一部を反映する場合も含む）

Ｂ：すでに計画案に盛り込まれているものや実施する上で参考とするもの

Ｃ：意見を反映しないで、計画案どおりとしたもの

Ｄ：その他の意見・要望・質問、計画案とは直接関係無いもの

No.	頁	該当箇所	意見の概要	分類	意見に対する考え方
10	37	第５章　二酸化炭素排出抑制に関する施策 ３　地域特性を考慮した施策 ⑵　ごみの分別及び資源化による焼却プラスチック削減 ア　プラスチックごみ分別の啓発	２）のア　プラスチックごみ分別の啓発「ごみダイエット塾」の詳細が分かりません。塾開催の回数が書かれているだけで、対象者、参加人数など分かりません。点検をお願いします。	D	「ごみダイエット塾」につきまして、令和元年度においては主に自治会向けに開催し、延べ開催回数は１４回、約５００人の市民に参加していただきました。 頂いたご意見につきましては、今後の環境基本計画の年次報告（環境白書）における参考意見とさせていただきます。
11	39	第６章　計画の推進体制と進行管理 １　推進体制及び進行管理 ⑵　進行管理	計画の推進体制と進行管理について １．ＰＤＣＡサイクルで効果のある施策を実行していくために、二酸化炭素の排出削減に成功している他市の施策や取組を取り入れて下さい。	B	二酸化炭素排出抑制における施策や取組につきましては、地域の産業構造や人口規模などの要因の違いにより、本市において効果を発揮しがたいものもありますが、類似する団体の取組もありますことから、津市域の二酸化炭素排出量の増減を「点検（Check）」した結果に基づき課題の是正を行う「見直し（Action）」の工程において、他自治体の施策等も参考にしてまいります。
12	39	第６章　計画の推進体制と進行管理 １　推進体制及び進行管理 ⑵　進行管理	２．前回平成21年度からの施策が思ったより効果がないことから、市の施策や啓発を考え直す必要があると思います。 課題として考えられること （１）情報発信の手段が少なく偏りがあるので広まりが感じられません。 （２）施策の効果が有るのか無いのかわかりません。 （３）市民が思う事、できる事と市の施策や啓発がずれているように思います。市民の目線にたった施策や啓発が必要です。 （４）この実行計画からは市が何をしたいのか？・市は何ができるのか？・市は何に困っているのか？市民は何ができるのか？が伝わってきません。	B	現状は広報津や市ホームページなど限られたチャンネルでの情報発信に留まっていますが、今後はごみ分別アプリ「さんあ～る」のインフォメーション機能の活用、新たなイベントへの参加、情報発信チャンネルの新規開拓など、市民の皆様に興味を持ってもらい、取組を実行に移していただけるよう、工夫をしてまいります。 頂いたご意見につきましては、事業を実施するにあたっての参考意見とさせていただきます。
13			３．前回平成２１年度から効果が出ていないという事は、環境保全課、環境政策課と今までの体制では同じようなことを繰り返すと思います。啓発の得意な部署と連携するか、もしくは外部からアドバイス等で施策や啓発を行なってください。市役所の中でもサイクルや連携は必要です。市民、事業者、行政が一体となることが必要なら、先ずは市役所の中でも一体になることが必要ではありませんか。	B	本計画における取組につきましては、国、三重県、その他関係団体と連携し津市域の温室効果ガス排出抑制に取り組むとともに、率先して津市の事務事業により発生する温室効果ガスの排出抑制に係る取組を行うことを明記しております。津市の事務事業における温室効果ガス排出抑制は津市役所が一体とならなければ達成は困難なものであることから、市役所内の連携を強化し、その達成に向けた取組をまずは徹底してまいります。

「津市地球温暖化対策実行計画」（案）に対する意見等の概要と意見等に対する考え方について

分類について

Ａ：意見を反映し、計画案を修正するもの（意見の一部を反映する場合も含む）

Ｂ：すでに計画案に盛り込まれているものや実施する上で参考とするもの

Ｃ：意見を反映しないで、計画案どおりとしたもの

Ｄ：その他の意見・要望・質問、計画案とは直接関係無いもの

No.	頁	該当箇所	意見の概要	分類	意見に対する考え方
14	-	-	私は公募で選ばれた環境審議委員です。審議委員会で聞いたことは、この実行計画で津市が出来ることは「啓発」だけということでした。そこでまずは、啓発の目的を調べました。「知識をひらきおこし理解を深めること。そして、内容に共感し自分の事として動いてくれる広報が求められる」とありました。津市の啓発と広報をあてはめてみました。 １．情報発信の手段に偏りがある。 ２．住民が欲しい情報と津市が発信している情報に差がある。 ３．広報活動の効果測定ができていない。 以上が広報の課題として挙げられます。そのために １．届けたいターゲットに情報が届かず行動に結びつかない。 ２．正確な情報、届けたい想いが浸透せず中味のない広報活動になってしまう。 ３．広報の方法が偏ることで情報格差を作ってしまう 以上のような事態になり啓発の効果がでません。 　この実行計画でも、「環境だより」「ホームページ」「インフォメーション機能」で意識啓発を図ります。周知します。といった具合に、ボールを投げっぱなしで終わっています。一方通行です。市民がボールを投げ返してくれて、サイクルに持っていくにことに重点をおいた施策や啓発,広報にして下さい。先ずは行政が実行、動く事です。	Ｂ	現状は広報津や市ホームページなど限られたチャンネルでの情報発信に留まっていますが、今後はごみ分別アプリ「さんあ～る」のインフォメーション機能の活用、新たなイベントへの参加、情報発信チャンネルの新規開拓など、市民の皆様に興味を持ってもらい、取組を実行に移していただけるよう、工夫をしてまいります。 頂いたご意見につきましては、事業を実施するにあたっての参考意見とさせていただきます。